

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 122	提案機関名 県立海洋科学高等学校
要望問題名 ガンガゼによる磯焼けの問題について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	
<p>本校が実習で使用する主な海域である長井、大楠地区でのガンガゼの急増により磯焼けを起こしているとの情報について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磯焼けとガンガゼの関連を調査する。 ・ 駆除や利用方法の取り組み等で本校が協力できることはないか。 	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 水産技術センターさんには、栽培漁業を行うようになってから全面的にご協力を頂いています。今後ともご指導よろしく申し上げます。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部、栽培技術部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等			
<p>ガンガゼに関する試験研究提案は、諸磯や三崎地区の漁業者からも数年前に寄せられており、平成20年に実施した諸磯地先の潜水調査では、数多くのガンガゼが生息し、海藻の食害と岩肌の白色化というガンガゼの影響と思われる磯焼け状態が確認されています。</p> <p>また、平成22年1月から3月の間に計4回、ガンガゼの食用試験を実施したところ、食部となる生殖腺は多く含まれていましたが、ほとんどの個体で苦味が強く、他県で味がよくなるとされる冬季3ヶ月間においても味の変化がなかったことから、食用に用いることは難しいと考えられます。</p> <p>これらの調査から、現在は、企画経営部の普及指導担当が漁業者に対し、海中のガンガゼを刺して潰し死滅させるよう指導し磯焼け対策としております。この取り組みの中で、新たな対策を実施する際にはご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、独立行政法人水産総合研究センターが、横須賀市荒崎周辺海域をフィールドとしてガンガゼの増加抑制対策技術開発研究に取り組んでおり、地元の長井町漁協を交えて情報交換を行っておりますので、参考にお知らせいたします。</p>			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			